

次世代特許AI「Stilta」：訴訟・高リスク案件に特化した証拠主導型エージェントAI

Goal: 特許訴訟やFTOなどの高リスク案件において、Stiltaがどのように「検証可能な証拠」を提示し、実務を効率化するかを伝える。

Context Summary: Stiltaはスウェーデン発のスタートアップで、特許訴訟、無効資料調査、侵害分析、FTO（自由実施確保）といった高リスク案件に特化したAIプラットフォームです。一般のLLMのような文章生成ではなく、膨大な公開データに基づき、人間が監査・検証可能な「証拠」を自動でマッピングすることに強みを持っています。

Stiltaの核心的価値と主要機能

証拠をしてマッピング 信頼性



訴訟・紛争対応に特化した3つの柱



3点に集中し、実務でそのまま使えるレポートを生成。

根拠を「聞いて検証できる」信頼性

ハルシネーションを回避し、出典原文とクレーム要素を直接紐付けた監査可能な結果を提供。

1兆ページを超える圧倒的なデータ基盤

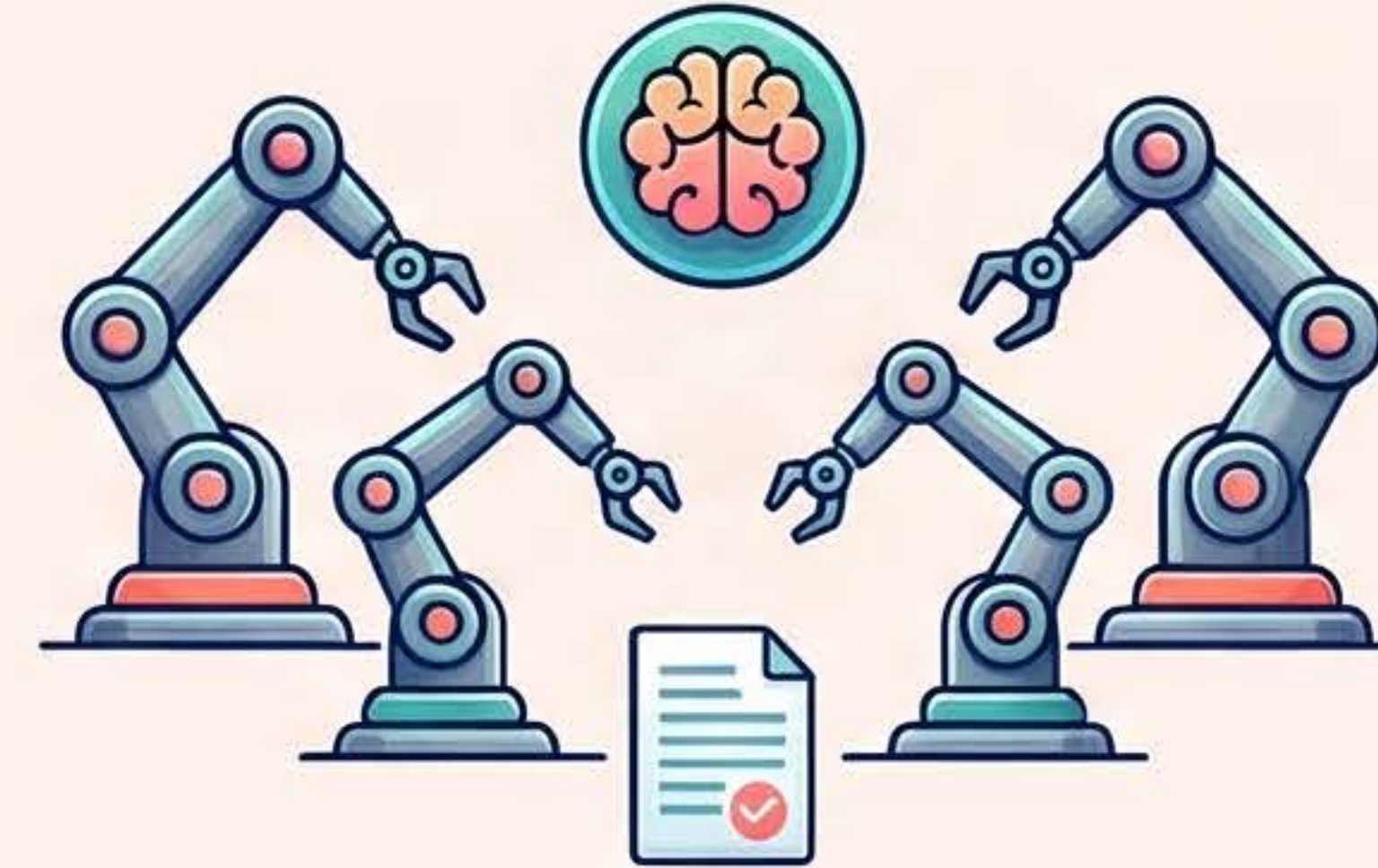


汎用的な知財ツール vs Stilta

一般的な知財AI・ツール	VS	Stilta (エージェント型AI)
権利化、発明発掘、広範囲な検索	主な用途	✓ 訴訟分析、無効化、高リスク案件のFTO
文献リスト、AIによる要約文	出力の性質	✓ 証拠マッピング、出典付きレポート
人間による全文再確認が必要	信頼性確保	✓ 出典原文との照合・監査が容易

実務導入のメリットと信頼性

専門家のように推論する「並列エージェント」 エンタープライズ級のセキュリティ設計



専門家のように推論する「並列エージェント」
複数の特化型AIエージェントが並列で探索・推論し、専門家チームのような分析を実現。



- ✓ 顧客データの学習利用ゼロ
- ✓ テナント分離
- ✓ US/EUデータレジデンシー選択に対応

調査期間を「1週間から1日」へ短縮



元Spotify知財責任者による事例
元Spotify知財責任者が、2件の特許に対する証拠収集をわずか1日で完了した事例を報告。